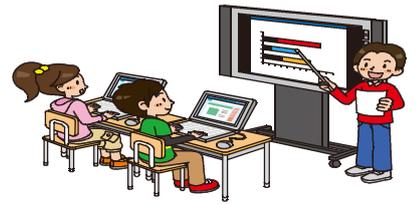




# 学校課題



## 1 研究主題

「表現力の向上を目指した学習指導の研究」～言葉の力を高め、書く力・話す力の向上を目指して～

## 2 主題設定の理由

本校では、「表現力の向上を目指した学習指導の研究」を主題に掲げ、数年間研究を行ってきた。令和3年度からは、コロナ下で学習活動を展開することを考え、それまでの「話すこと・書くことを中心に」した研究から、「言葉の力を高め、書く力の向上を目指した研究」に重点を置き取り組んできた。その成果として以下の点が確認できた。

- ・学力調査結果の「書くこと」の領域において、どの学年も全国平均を上回った。
- ・学年末に行った児童の意識調査では、ほとんどの児童が、自分の気持ちや考えを「進んで書く」ことができた」と回答していた。書くことに意欲的な児童が育っている。
- ・「書く力」がどの程度身に付いたかを検証するために、学年末にパワーアップシートを用いた調査を行った結果、各学年とも題意に合った内容の文章を書くことが概ねできていた。
- ・語彙力を高めたり、書く力を高めたりする様々な取り組みを年間を通して行った。実践報告することで共有化が図れ、教員の指導力が向上した。

また課題として、次の点が考えられた。

- ・学力調査の結果において、「漢字の読みや書き」が、全国平均を下回る学年が多数あった。また「思考」と比べ「知識」の得点率が低く、児童にとって「知識」が生きて働くように定着していないことが伺われた。
- ・気持ちの面から「書くこと」を肯定的にとらえていない児童が、約20%いることが分かった。(同上の意識調査より) その理由としては、書いた内容が相手にどのように受け取られるか不安であったり、自分の伝えたいことがうまく表現できないと考えたりする気持ちがあった。また、文章を書くとき約10%の児童が、自分の伝えたいことは何かを考え、伝わるように書いたと回答していなかった。自分の思いや考えを明確にし、自分を表現することを主眼とした書く指導が継続して必要であることが分かった。
- ・パワーアップシートを用いた調査結果を詳細にみると、自分の思いや考えに沿った理由を適切に書く、指定された段落を使って適切に書く、題意に合った内容にするために言葉を選んで書く(例:「新聞記事を書く」という問題に対し、「紹介したいことは～」などの言葉を使って書く)、文の主語と対応した述語で書く、既習の漢字を正しく使って書く等に課題が見られた。

そこで今年度においても、言葉の力を高め、自分の思いや考えを分かりやすく書く力・話す力の向上を目指し、自分を表現する喜びを味わわせたいと考え、本主題を継続した。そのためには、まず言語能力を育成する中心的な役割を担う「国語科」の原点に今一度立ち返り、「国語科」で示されている各学年に応じた「書くこと」に必要な指導事項を指導者が吟味して重点化をし、6年間で指導すべき事項の共通理解を図りたい。そして児童に「育てたい資質・能力」を明確にした授業を行い、児童が「言葉による見方・考え方」を働かせ、言葉に対して自覚的になり、自分なりの言葉を通して思いや考えを表現できるようにしたい。また、その国語科で培われた力が、他教科の学習や様々な場面での表現活動に生かせるようにしたい。

## 3 目指す児童像

自分の思いや考えを分かりやすく表現できる児童

- ・発達段階に合った文の書き方を理解し、それらを活用して様々な条件に合った文章を分かりやすく書くことができる。
- ・自分の伝えたいことを明確にして、言葉を選んで書くことができる。